



# CANジャーナル

2026  
令和8年  
8・9月号

学校法人 中村学園  
専門学校 静岡電子情報カレッジ  
静岡福祉医療専門学校

## 「AI時代の人材像」と「非認知能力」、そして「スポーツ」「幼児期の遊び」

進路室長 橋野 幸男  
7月上旬に東京ビッグサイトで、日本最大のスポーツ・健康産業専門展「SPORTEC 2026」が開催されました。その最終日のセミナーで、登壇者の一人・Gen-AX 株式会社 鈴木祥太氏は、「AI時代に求められる人材像」などについて、次のように述べています（同社はソフトバンク株式会社の100%出資子会社で、同氏は「AIエバンジェリスト(普及推進者)」を担当）。

### 【AIの進化と現在地】

AIはタスクを自律的に実行する「AI エージェント」へと進化、2018年の生成AI誕生・2025年のAIエージェント元年・2026年の同実装元年・フイジカル AI 誕生、と続いてきた。2030年以降には人間のように幅広い分野で学び考え応用できるAGI(“Artificial General Intelligence”。汎用人工知能)が、さらにその先には人類の英知を超えるとされる仮説上のAI=ASI(“Artificial Superintelligence”。人工超知能)が誕生するかもしれない。

### 【AI時代のタスク配分】

AIは「人の仕事を奪う」よりも、「仕事の中のタスク分配を変える」。すなわち、仕事の各要素のうち、「たたき台」「整える」「調べる」は生成AIの得意な領域であるため前工程としてAIで圧縮し、「作る」は生成AIと人とのハイブリッド。そして、「伝える」「判断」は、後工程として人が担う。ここを強化すべき。

### 【AI時代に求められる人材像】

①「問いを立てる力」、②AIの答えをうのみにせず現場や身体で検証する「確かめる力」、③多様な人を巻き込み合意をつくり、やり切る「共に成し遂げる力」など、教科書と教室では身に付かない力が重要。

AI時代に価値が上がるのは、④「チームワーク」、⑤身体で理解し表現する「身体性」、⑥緊張や不安を力に変える「感情」、⑦意見が割れても前に進める「合意形成」、⑧結果を引き受ける「責任」。これらは、スポーツの現場では当たり前になっているが、AIが最も苦手とする『非認知能力』であり、「AI時代に価値が上がるのは、『スポーツ的能力』かもしれない」。

### 【大阪体育大学・藤本淳也教授とのクロストーク】

AIは与えられた情報の範囲内でしか考えられないためAIだけで完結することは難しく、そこを補うのが『非認知能力』だ。自分の問いを言語化し、思考力を付けていくことが、より有効にAIを使うことにつながる。

このセミナー内容に興味を持ったのは、子ども心理学科「面接指導」の直前で、発達心理学/保育学研究者・内田伸子氏(お茶の水女子大学名誉教授)の『非認知能力とは？ AI時代に必要な力を育む “幼児期の遊び”』(Web 連載記事「保育は未来をつくる仕事」の第1回)や、文部科学省「幼児教育ワーキンググループ」×子ども家庭庁「保育専門委員会」の『取りまとめ(案)』(「資質・能力の育成に向

けた“遊びの深まり”、幼児にとつての『学び』である『遊び』のプロセス)などを読んでいたからかもしれません。

『スポーツ』や『幼児期の遊び』と「非認知能力」、そして「AI時代の人材像」。三題漸のようになりましたが、いかがでしょうか。

「AI×人間、AIと共生する時代を生きる皆さん、AIが代替しにくい「問いを立てる力、目的を設定する力、挑戦を続ける力」といった「人間の主体性にかかわる能力」=「基盤能力」がこれからは重要だという議論を、最近よく耳にしていると思います。今夏、これらの力についてチェックし、今後の自身の課題を設定していきましょう。

## 8月の行事

- 1日(金) 3CO臨地実習Ⅱ ～8/29  
1TW・CW第1期実習 ～8/1  
3日(月) 3TW第5期実習 ～9/12  
5日(水) E・CP・1,2CO前期試験 ～7日  
補講授業 ～7日  
8日(土) SPオープンキャンパス 13:15～  
9日(日) 夏季休校 ～16日  
11日(日) 山の日  
22日(土) SPオープンキャンパス 13:15～  
24日(月) CW・TW(1・2年) 前期再開  
31日(月) 3CO臨地実習Ⅲ ～10/10

## 9月の行事

- 1日(火) 登校日(防災訓練、大掃除)  
3CO臨地実習Ⅲ ～10/10  
2日(水) E・CP・ORT追再試補講期間 ～9/11  
3TW第5期実習 ～9/12  
7日(月) 2CO後期授業開始  
10日(木) オープンキャンパス 17:00～  
11日(金) CW・TW(1.2年) 前期終了  
14日(月) 後期講義開始  
17日(木) CP実習科内発表会  
18日(金) 3CO帰校日  
21日(月) 敬老の日  
22日(火) 国民の休日  
23日(水) 秋分の日  
24日(木) J検・B検CBT  
26日(土) オープンキャンパス 13:15～  
26日(金) 2CP保育実習(施設) ～10/16  
28日(月) オープンキャンパスⅠ施設 ～10/16  
社会人常識マナー検定

## 令和8年度 子ども心理学科 卒業生を囲む会

令和8年7月2日(木) 実施

テーマ

実社会で活躍中の卒業生から直接話を伺い、  
在学生在が職業観を高めると同時に、  
目前に迫った就職活動を乗り切るパワーとノウハウを獲得する機会

☆成瀬 菜実さん(保育所保育士)☆

平成31年度卒業 就職先: 社会福祉法人明星福祉会明星保育園

☆川口 稜夏さん(こども園保育教諭)☆

令和2年度卒業 就職先: 社会福祉法人あゆみ福祉会竜南こども園

☆亀井 志帆さん(施設保育士)☆

令和4年度卒業 就職先: 社会福祉法人輝望会沼津市立愛鷹学園



## 「卒業生を囲む会を終えて」

子ども心理学科3年 山本 敦紀

保育所・児童福祉施設・幼稚園での実習がすべて終わり、いよいよ就職を真剣に考える中で、卒業生のお話を直接聞くことができ、とても参考になりました。それぞれの現場で働かれている先輩たちの話から、自分に合った就職先を探すことが大事なのだと考えさせられました。それぞれの現場でやるべきこと、求められることの違いを理解し、これからの就職活動に活かしていきたいと思っています。共通して出てきたことは、「子どもと沢山関わりしっかりと遊ぶ」という言葉でした。子どもを理解するためにも、子どもの成長のためにも、しっかりと子どもと遊べる保育者を目指していきたいと思っています。さらに、就職して1年目はとても大変だと思います。それでも、仕事を中心に生活習慣を整えること、ピアノや教材制作など、自分の武器になるものを今のうちから準備しておこうと思いました。



## 総合福祉学科・介護福祉学科2年 第三期実習での学び

令和8年6月15日(月)～7月18日(土)

テーマ

## 介護計画の立案・実施に評価を学ぶ

「5週間の介護実習での学び」

介護福祉学科2年 オウ コウキン

## 個人目標①利用者様のアセスメント

## ②利用者本位の介護計画の立案

## ③計画に基づいた介護計画の実施

## ④実施した介護の客観的な評価と修正

第三期実習は、これまでの基礎をもとに、利用者様の個性に応じた根拠のある介護の実践、また介護計画のための情報収集、立案、評価の一連の流れを深く理解することを目標にのぞみました。

期間中には、オムツ交換、特浴、トイレ排泄、移動など多くの介護技術を学ばせていただきました。オムツ交換時には、ぬるま湯や泡だてシートを活用しての洗浄、ワセリンを塗布しての皮膚の保護、その方の体型にあわせてパットのギャザーをフィットさせるなどその方に合わせた対応について学び、実践させていただきました。

介護計画の立案、実施においては、在宅に帰ることを目標にしていた担当利用者様が、家族の事情により在宅復帰が難しくなり、精神的なショックから状態が大きく変わってしまいました。情報収集を行い、立案した介護計画に対し、気分が落ちてしまったことで、実施することが難しい状態になってしまいました。そのため今回の実習では立案した介護計画を実施せず、現在の状態にあわせた対応を再検討することとなりました。介護の仕事をしていく中で、利用者様の状態は絶えず変化しており、状態にあわせた対応が求められる事を実感することが出来ました。その方の状態、思いに沿った支援が出来るようこれからも、成長していきたいと思ひます。

「第3期実習での学びを通して」

総合福祉学科2年 北原 彩愛

個人目標①今までの生活の中で大切にしてきたことを感じながら無理なく過ごすことができる

②うなずきや言葉で自分の思いを伝えることができる

私は今回の第3期実習で、終末期ケア(看取りケア)を体験し、深い学びを得ることができました。利用者様の状況が日々変化していく中、私の視点では「できなくなっていること」に着目してしまう傾向にありました。しかし、終末期を迎える利用者様に対して、「できること」へ目を向け、その方のこれまで生きてきた人生をより深く理解することが大切だということを学びました。またご本人がどのような余生を望んでいるのか、ご家族が最期までどのように過ごしてほしいと願っているのか、その想いをアセスメントし、一人一人の人生に寄り添うことが介護福祉士の重要な役割であると感じることができました。

今回の実習を通して人生を支えるという重要性やその大切さについて学ぶことができたため、この経験を忘れることなく、次回の実習でも更なる学びを深めていきたいと思っています。

## 夏休みスペシャルオープンキャンパス

## ◆第一弾 7月25日(土)在校生 SPECIAL ◆



～在校生と、あなたの5年先の将来像と一緒に描いてみよう！～

## 来校者の声

- 先生や在校生の方が優しく対応してくださり、過ごしやすかったです。しごと体験授業もたのしかったです。
- 短い時間でも楽しくできるように工夫されている内容で、すごくよかった。
- AOのことについて聞くことができ、先輩方からもたくさん話をきくことができたのが良かったです。子どもと一緒に成長できるお仕事だと改めて思いました。
- 在校生が一生懸命考えてくれたのが伝わり、とても楽しくしごと体験授業ができました。説明が分かりやすかった。先輩がフレンドリーで、楽しくしごと体験ができこんな学校に入学したいと思いました。

在校生、教員の対応がよかったとお褒めの言葉が多かったです！  
ご協力ありがとうございました！

## ◆第二弾 8月8日(土)卒業生 SPECIAL ◆

本学の卒業生の、「しごと」体験と経験談を通して職業観を磨こう！

## ◆第三弾 8月22日(土)業界人 SPECIAL ◆

業界のエキスパートと、未来にかっこよく活躍する自分をイメージしよう！



## 広報室より

企画広報室 深澤 満奈美

いよいよ夏本番！本学は今年も夏のスペシャルオープンキャンパスを開催中です。8月8日(土)の第2弾では、本学卒業後数年が経過した卒業生がゲストとして来校し、実際の仕事の内容や職場の様子を紹介しながら、専門学校の学びが就職後どのように活かされているかお話ししてくれます。体験授業では卒業生がデモンストレーションやレクチャーをしてくれるなど、ゲストと一緒に楽しみながら仕事について知ることができる内容となっています。

8月22日(土)の第3弾では、プロとして長く業界で活躍している業界人の方をゲストにお招きします。中には本学卒業生の方もいらっしゃいます。仕事で使える実践スキルをゲストが直接伝授してくれ、また、将来のキャリアアップにもつながるお得なスペシャルとなっています。夏のスペシャルオープンキャンパスは、現場の方の生の声が聞ける貴重な機会であり、続けて参加することで目指す仕事の内容や、その仕事での将来像をイメージすることができます。もし、みなさんの周りに進路選択の時期を迎えている方がいらっしゃれば、ぜひ一緒にご参加いただけるようお誘いしてみてください。CAN スカラシップ生をはじめとする在校生の参加者のみなさんも、ゲストの話をしっかりと聞き、今後に役立てていってもらえればと思います。

## 9月・10月のオープンキャンパス

- 9/10(木) 17:00～18:45
- 9/26(土) 13:15～15:45
- 10/8(木) 17:00～18:45
- 10/17(土) 13:15～15:45

★上記日程で参加できない方は個別でも対応しています。  
詳細はお気軽にご相談ください！